

平成二十四年度大学院人文科学府修士課程第2期試験問題
(東洋史学)

◎以下の問Ⅰ、Ⅲの各設問に答えなさい。解答は解答紙に記入すること。

問Ⅰ 次の二つの設問の内、一つを選び解答しなさい。

- ①契丹、遼についての研究状況を整理しつつ、その展望について論じなさい。
②四世紀における中国・朝鮮、日本(倭国)の歴史を概述しなさい。

問Ⅱ 次の各語のうちから五つを選び、簡単に説明しなさい。

- ①杉山正明 ②鳥居龍藏 ③田村實造 ④慶州白塔 ⑤遼史
⑥慶陵 ⑦契丹小字 ⑧祖陵 ⑨東丹国 ⑩西遼
⑪東潮 ⑫田中俊明 ⑬帶方郡 ⑭七支刀 ⑮安岳三号墳
⑯倭国 ⑰牟頭婁 ⑱梁職貢図 ⑲宋書 ⑳劉裕

問Ⅲ 次の二つの設問の内、一つを選び解答しなさい。

①次の文章は『遼史』太祖紀の一節である。日本語に翻訳しなさい。
太祖大聖大明神烈天皇帝、姓耶律氏、諱億、字阿保機、小字啜里只、契丹迭刺部霞濶益石烈鄉耶律彌里人。德祖皇帝長子、母曰宣簡皇后蕭氏。唐咸通十三年生。初、母夢日墮懷中、有娠。及生、室有神光異香、體如三歲兒、即能匍匐。祖母簡獻皇后異之、鞠為己子。常匿於別幕、塗其面、不令他人見。三月能行、啐而能言、知未然事。自謂左右若有神人翼衛。雖齟齬、言必及世務。時伯父當國、疑輒咨焉。既長、身長九尺、豐上銳下、目光射人、鬣鬣、言必及世務。時伯父當國、疑輒咨焉。既長、身長九尺、伐越兀及烏古、六奚、比沙狹諸部、克之。國人號阿主沙里。
唐天復元年、歲辛酉、痕德董可汗立、以太祖為本部夷離董、專征討、連破室韋、于厥及奚帥轄刺哥、俘獲甚衆。冬十月、授大迭烈府夷離董。
明年秋七月、以兵四十萬伐河東代北、獲生口九萬五千、駝、馬、牛、羊不可勝紀。九月、城龍化州于潢河之南、始建開教寺。
明年春、伐女直、下之、獲其戶三百。九月、復攻下河東懷遠等軍。冬十月、引軍略至薊北、俘獲以還。先是德祖俘奚七千戶、徙饒樂之清河、至是創為奚迭刺部、分十三縣。遂拜太祖于越、總知軍國事。
明年歲甲子、三月、廣龍化州之東城。九月、討黑車子室韋、唐盧龍軍節度使劉仁恭發兵數萬、遣養子趙霸來拒。霸至武州、太祖謀知之、伏勁兵桃山下。遣室韋人牟里詐稱其酋長所遣、約霸兵會平原。既至、四面伏發、擒霸、殲其衆、乘勝大破室韋。
明年七月、復討黑車子室韋。唐河東節度使李克用遣通事康令德乞盟。冬十月、太祖以騎兵七萬會克用于雲州、宴酣、克用借兵以報劉仁恭木瓜澗之役、太祖許之。易袍馬、約為兄弟。及進兵擊仁恭、拔數州、盡徙其民以歸。
明年二月、復擊劉仁恭。還、襲山北奚、破之。汴州朱全忠遣人浮海奉書幣、衣帶、珍玩來聘。十一月、遣偏師討奚、營諸部及東北女直之未附者、悉破降之。十二月、痕德董可汗殂、羣臣奉遺命請立太祖。曷魯等勸進。太祖三讓、從之。

②次のⅰ、ⅱの文章を書き下し文にしなさい。

ⅰ李尤字伯仁、廣漢雒人也。少以文章顯。和帝時、侍中賈逵尤有相如、楊雄之風、召詣東觀、受詔作賦、拜蘭臺令史。稍遷安帝時為諫議大夫、受詔與謁者僕射劉珍等俱撰漢記。(『後漢書』卷八〇上李尤傳)

ⅱ衍字夷甫、神情明秀、風姿詳雅。總角嘗造山濤。濤嗟歎良久。既去、目而送之曰、「何物老嫗、生寧馨兒。然誤天下蒼生者、未必非此人也。」……衍既有盛才美貌、明悟若神、常自比子貢。兼聲名藉甚、傾動當世。妙善玄言、唯談老莊為事。每捉玉柄麈尾、與手同色。(『晉書』卷四三王衍傳)

ⅲ袁憲字德章、尚書左僕射樞之弟也。幼聰敏、好學、有雅量。梁武帝脩建庠序、別開五館、其一館在憲宅西。憲常招引諸生、與之談論。每有新議、出人意表、同輩咸嗟服焉。大同八年、武帝撰孔子正言章句、詔下國學、宣制旨義。憲時年十四、被召為國子正言生、謁祭酒到瀨。瀨目而送之、愛其神彩。在學一歲、國子博士周弘正謂憲父君正曰、「賢子今茲欲策試不。」君正曰、「經義猶淺、未敢令試。」居數日、君正遣門下客岑文豪與憲候弘正。會弘正將登講坐、弟子畢集。乃延憲入室、授之麈尾、令憲樹義。時謝岐、何妥在坐。弘正謂曰、「二賢雖窮奧蹟、得無憚此後生耶。」何、謝於是遽起義端、深極理致。憲與往復數番、酬對閑敏。弘正謂妥曰、「恣卿所問、勿以童稚相期。」一時學衆滿堂、觀者重沓、而憲神色自若、辯論有餘。(『陳書』卷二四袁憲傳)